

代表取締役社長

山内一裕

全国健康管理能力検定協会理事長・
日本成人病予防協会専務理事

安村禮子

当社のヘルスケア事業は良質な睡眠を提供する睡眠関連ビジネスに注力しており、事業譲受け効果もあり売上高が前年度比倍増する見通しです。ヘルスケア事業部門のプレゼンスの高まりに呼応して、社内でのヘルスケア関

連の資格取得にも力を入れているところです。かかる中、今回は、全国健康管理能力検定協会理事長・日本成人病予防協会専務理事安村禮子様をお招きして「健康経営」をテーマに山内社長と対談して頂きました。

安村禮子プロフィール

一般財団法人 全国健康管理能力検定協会 理事長
特定非営利活動法人 日本成人病予防協会 専務理事
文部科学省「早寝早起き朝ごはん」全国協議会 幹事
管理薬剤師
文部科学省後援「健康管理能力検定」の普及活動、健康講演会の講師として幅広く活動している。

山内 まず初めに、実は、今年度はダイトウボウグループのヘルスケア事業部門中心に健康管理能力検定試験を多数の社員が受験しており、来年度は会社として団体受験を申し込みたいと考えているところです。理事長から健康管理能力検定について簡単に教えてくださいませんか？

安村 健康管理能力検定は、1992年に健康管理士一般指導員資格としてスタートしたことが始まりです。その後の健康意識の高まりを背景に、現在は、文部科学省の後援も得て、健康管理能力検定認定人数が累計65,000人を超える規模となっています。合格者の皆さんは企業、学校、自治体で幅広く健康に関する正しい知識を活用して、社会に貢献されています。

山内 少子高齢化の時代を迎え、検定試験を通じて、健康に関する正しい知識を持つ人が増え、自分自身のみならず、世のため人のため

社会貢献する人が増えるというのは、とても素晴らしいことだと思います。ダイトウボウグループのヘルスケア事業部門も、そういった社会のニーズに応じて、睡眠関連の商品を中心に取り扱いを伸ばす中で、健康に関する正しい情報をお客様に提供するようにしています。健康管理能力検定は、そういった知識を高めるために非常に有益なツールだと思います。

安村 お仕事にも活用頂いているとお聞きして嬉しいです。ところで、ダイトウボウグループでは、「健康経営」ということにも幅広く取り組んでおられるのですか？

山内 実は、今年、弊社は都内の総合健保では数少ない「健康経営の証」を受章しました。役職員一同が、自身の身体的・精神的な健康に留まらず、個人の健康の集合体としての会社組織が健康な状態を維持しつつ日々業務に取り組んでい

ることが評価されたと理解しています。これは、ヘルスケア事業を営む企業として誇らしいことだと思っています。

安村 ヘルスケアの概念はメディカルケアからボディケアやスポーツまでとても幅広い概念ですが、健康管理を行う上で、未病のうちに心身をケアするという事は大切なことだと思っています。この未病という観点から、「睡眠」は非常に重要な要素です。ダイトウボウグループが睡眠をキーワードとしてヘルスケアに取り組んでおられるということは、生活習慣病予防の観点からも効果が期待できると思います。ぜひ、ヘルスケア事業を通じて、少子高齢化時代における健康で豊かな生活作りに貢献し続けて頂きたいと思います。

山内 ダイトウボウグループは、東京オリンピック・パラリンピックの2020年に125周年目の節目を迎えることを契機に、さらなる大き

な飛躍を目指す考えであり、ヘルスケア事業を通じて、より多くの皆様の健康で豊かな生活にお役に立ちたいと考えています。本日はありがとうございました。

